

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

日頃、忙しく働いていらっしゃるお母さん(お父さん)に、少しでもお子さんとの幸せな時間を共有して頂きたいと思い、絵本回覧を行ないたいと思います。こちらの準備が出来次第、始めたいと考えています。

絵本は言葉の湧き出てくる世界です。

絵本は子どもに生きている喜びを感じさせ、生きる力を与えます。

同時に大人をも生きかえらせてくれる言葉の泉です。

絵本は子どもに読ませる本ではなく、大人が子どもに読んであげる本だと考えます。絵本の第一の意味は、親と子が共に居て、そのひとときの時間と空間のなかに、絵本という喜びの言葉の世界があり、読み手と聴き手とがその言葉の喜びをわかちあい、共有することにあります。絵本はすばらしい言葉と絵とで表現されていますが、その言葉も絵も読み手のものとして子どもに語り伝えられ、受けとめられます。親は、読み手は、絵本のなかに表現されている最高の言葉を、自分の声で自分のものとして語ることができ、その喜びや楽しみや美しさが大きければ大きいほど、その絵本体験は聴き手のなかに生涯残りつづけ、語りつづけます。それこそがお母さんの読んでくれた絵本、お父さんの読んでくれた絵本、先生が読んでくださった絵本の真髄です。

よく知っている絵本でも、作者までは知らないということがあります。しかし、その絵本を誰に読んでもらったかは、ほぼ全員が覚えています。まさに絵本は読み手のもの、絵本は読み手と聞き手の愛の結晶なのです。

松井 直『絵本のよろこび』NHK出版 より

絵本回覧について

まずは、お子さんを膝にのせて、お母さんが絵本を読んであげて下さい。お母さんがどうしても難しいときは、お父さんが読んで下さい。お母さんもお父さんも難しい時はおじいちゃんや、おばあちゃんが…。

絵本回覧の目的は、子どもに「絵本を読んであげること」だけでなく、「今のうちにお母さん(お父さん)と過ごす幸せな時間を積み重ねておくこと」なのです。ですから、お母さんが子どもとの時間をつくりやすいように、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃんは、ぜひお母さんをサポートしてあげて下さい。もちろん、「お父さんとの時間」、「おじいちゃん、おばあちゃんとの時間」も作って頂いて構いませんが、まずは「お母さんとの時間」をつくって、お子さんと絵本の世界をじっくり楽しんでみて下さい。

絵本回覧のやり方

1. ご家庭で読んで頂きたい絵本を園の職員が選びます。
2. 回覧用のバッグを用意します。
3. 園の職員が選んだ絵本と感想文ノートをクラスに回覧します。
4. 絵本を読むときは、「お子さんを膝の上に乗せて読んでもらうこと」などを約束(※)とします。
5. 読み終わったら、1行でも、2行でもいいので感想文をノートに書いて頂きます。
6. その感想文ノートは絵本と一緒に回覧されますので、他のご家庭の感想が同時に回覧されます。

(※)絵本回覧の約束

- ① お子さんを膝の上に乗せて読んであげてください。(きょうだいがいる場合でも、一人ずつ順番に膝の上に乗せて読んであげて下さい。)
- ② きっと「モウイッカイ！」とお願いされると思います。時間の許す限り、何回も読んであげて下さい。
- ③ 絵本を読んだら、名前欄の横に感想をお書きください。(1行でも2行でもかまいません。)
- ④ 絵本は持ち帰った日に読んで、2日以内にお返しください。
- ⑤ 絵本は大切にしてください。

きっと、親子で一緒に絵本の世界を楽しむことができ、同時に親子のスキンシップをはかることもでき、親子の絆をより深めることができるはずです。親子ともに“幸せな時間”を過ごすことができるはずです。